

## 個人、チーム、そして組織のパフォーマンスを引き出すコーチング 『ビジネスコーチングの極意が遂に明らかになります』

**ICF代表が初来日！初めて語られるビジネスコーチングを成功に導くその秘訣**

2011年4月25日・六本木 アカデミーヒルズ40にて開催決定



ビジネスの現場におけるコーチングの認知度は欧米を中心にこの10年間で飛躍的な上昇を遂げています。この流れは欧米だけではなく、アジア諸国にも広がり、世界的なトレンドとなりつつあります。日本のビジネスも例外ではなく、マネージメント層にコーチングやコーチングスキル研修を採用する企業も増え、今後一般化していくことが予想されています。

企業がコーチングを採用するのはどんな理由からでしょうか。企業での導入事例の多いアメリカでの事例を検証することで、その答えが見つかるかもしれません。国際コーチ連盟(International Coach Federation 以下ICF)代表、エド・モデルが、アメリカでのビジネスコーチングの水先案内人として、その極意を紐解きます。

コーチングという手法はビジネスだけではなく、パーソナル、ウェルフェアなど様々な分野で活用されていますが、今回のフォーラムでは、「コーチングをビジネスの現場に！」をテーマにアメリカ企業におけるコーチング活用事例や成果などをご紹介しますとともに、コーチングの理解と日本企業でのさらなる普及促進を提唱いたします。

当日はゲストスピーカーとして、「NASAのチームビルディング」の著者であるチャールズ・J・ペレリン博士と、G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長兼コーン・フェリー・インターナショナル社アジア・パシフィック地域最高顧問の橘・フクシマ・咲江氏を迎え、両氏から組織パフォーマンスの向上やグローバル人材育成についてお話しいただきます。

### ゲストスピーカーと講演内容



#### 「コーチングを用いての組織内活性化と人材育成」

エド・モデル氏 ICF国際コーチ連盟 代表  
(プロフェッショナル認定コーチ)

米国企業でのコーチング導入の実態、成功事例、活用法など紹介します。



#### 「NASAのチームビルディング」

チャールズ・J・ペレリン博士 *How NASA Builds Teams* の著者

スペース・シャトルの打ち上げ、国際宇宙ステーションの運用、アポロ17号以来となる月面探査計画—国家的プロジェクト・チームのパフォーマンスを劇的に向上させたNASAの組織マネージメントについて紹介します。



#### 「グローバルに通用する人材とは」

橘・フクシマ・咲江氏

G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長及び、コーン・フェリー・インターナショナルアジア・パシフィック地域最高顧問  
ダイナミックに変化する経営環境で生き残る企業に求められる人材とは。

いま求められている国境を越えて通用するグローバル人材についてお話しします。

【ICF東京チャプターについて】ICF国際コーチ連盟に認可されている組織で、日本をベースとして活躍するコーチが集まる国際コミュニティです。私たちは、ここ東京において、コーチが自発的に集まれる場所を創造し、定期的なミーティングを通じて、日本におけるコーチングのさらなる定着を目指すという強い想いから発足した多国籍集団で、すべてのコーチがご参加いただけるオープンな組織です。詳しくは<http://www.icftokyo.com/>

【ICFについて】ICFはアメリカに本拠を持つNPO法人で、世界108ヶ国に18,300人を超えるプロフェッショナル・コーチを会員として持つ組織です。そのミッションは、コーチングが世界的に統一された手法と倫理観を持ち提供されるための基盤づくりや、資格制度の提供、会員として活躍するコーチの地場に根付いた活動のサポートにあります。日本においては、ICF東京チャプターという組織がその活動を広める役割を担っており、日本人コーチだけではなく、日本在住の外国人コーチも交えて、コーチングを自発的に学び、互いに交流の場となる多国籍な国際コミュニティを形成しています。詳しくは<http://www.coachfederation.org/>

## スピーカーのプロフィール



### エド・モデル氏 (ICF PCC)

ICFより認定されたエグゼクティブ及び、ライフコーチとして政府、小規模ビジネス、非営利団体、弁護士や会計士へのコーチングを提供するコーチ。Coaches Training Institute認定コースを修了し、ICFワシントンDCチャプターの代表を務めた経験を持つ。また、ICF規制委員会の会長を2年間務め、コンフリクト・コーチングSIGの協働創設者としても知られている。

また、メリーランド州、アナポリスにあるメリーランド州立裁判所において、行政監督官としても活躍しており、その業務の一環として、職場環境で起きる問題や不安に対するコンフィデンシャル及びインフォーマル・コンフリクト・コーチング、メディテーション、ファシリテーションを提供している。

エドは2003年にコーチとして独立したが、それまではワシントンDCで28年間に渡り弁護士として活躍。複数の法律事務所に所属したが、最後に所属したのはDickstein Shapiro LLPで、大規模な民事訴訟を専門としていた。

メディテーションの専門家としても知られ、メリーランド州の私立非営利コミュニティー・メディテーション・センターとして地域の住民にメディテーションやファシリテーションのサービスを提供するConflict Resolution Center of Montgomery Countyの設立に携わった。

バージニア大学ロースクールを卒業、イェール大学の学士号を取得し、アメリカ空軍のオフィサーを務めた経験を持つ。



### チャールズ・J・ペレリン博士

アメリカ航空宇宙局(NASA)で長年天体物理学部門のディレクターなどを務めてきた物理学者。さまざまな国家的なプロジェクトを指揮しており、グレート・オブザーバトリー計画の草案に対してはアメリカ宇宙航行学会(AAS)より同学会が贈る最高の賞であるスペース・フライト賞を授与される。1990年、ハッブル宇宙望遠鏡の船外修理ミッションを成功させ、NASAより最高の荣誉である「ディスティングイッシュド・サービス・メダル」を授与された後、米コロラド大学ビジネススクール教授に就任。そこで開発した組織開発パフォーマンス向上の支援システム「4-Dシステム」はNASA全体の職員2万人のうち約半数以上が利用するほどに普及している。

2007年 ICF インターナショナル・プリズム・アワードの受賞者でもある。



### 橋・フクシマ・咲江氏

清泉女子大学卒。ハーバード大学にて教育学修士。同大学で日本語講師。経営コンサルティング会社を経て、スタンフォード大学(MBA)取得。その後、ペイン・アンド・カンパニーに入社。1991年に世界最大手人財コンサルティング会社コーン・フェリー・インターナショナルに入社。日本支社社長、会長を務め、2010年8月アジア・パシフィック地域最高顧問に就任と同時にG&S Global Advisors Inc.を設立し、代表取締役社長に就任。コーン・フェリー米国本社の取締役を12年間務め、花王、ソニー、ベネッセ等日本企業の初の女性独立取締役を歴任。現在はブリヂストン、パルコの独立取締役。「売れる人材(Global Marketable Executives)」を含め、キャリアに関する著書多数。その他、コーポレート・ガバナンスも含めて広く執筆・講演活動も行っている。

## イベントの概要

開催日	2011年4月25日(月)
開催時間	14:30 ~ 17:30 (開場14:00)
使用言語	英語(日本語の通訳がつきます)
受講対象者	企業・官庁の人事担当役員様 人事・労務部門及び事業部門のマネージャーの方 経営企画部門担当の方 ※ 特に、組織変革や人材育成戦略の見直しをお考えの企業の方
会場	アカデミーヒルズ40 会議室ギラントB 六本木ヒルズ森タワー40F 東京都港区六本木6-10-1 <a href="http://www.academyhills.com/map/index.html">http://www.academyhills.com/map/index.html</a>
参加費	5,000円
お申し込み方法	ICF東京チャプターホームページ( <a href="http://www.icftokyo.com/">http://www.icftokyo.com/</a> )からお申し込みください。 申し込み締め切り: 2011年4月18日 定員: 150人(お申込み順、会場の都合上、定員になり次第締め切ります) ご不明点、お問合せは、E-mail <a href="mailto:info@icftokyo.com">info@icftokyo.com</a> まで。
主催	ICF東京チャプター
協賛	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アチーブメント株式会社</li> <li>■アークコミュニケーションズ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■月刊誌「スタッフアドバイザー」</li> <li>■リザーブストック</li> </ul>